



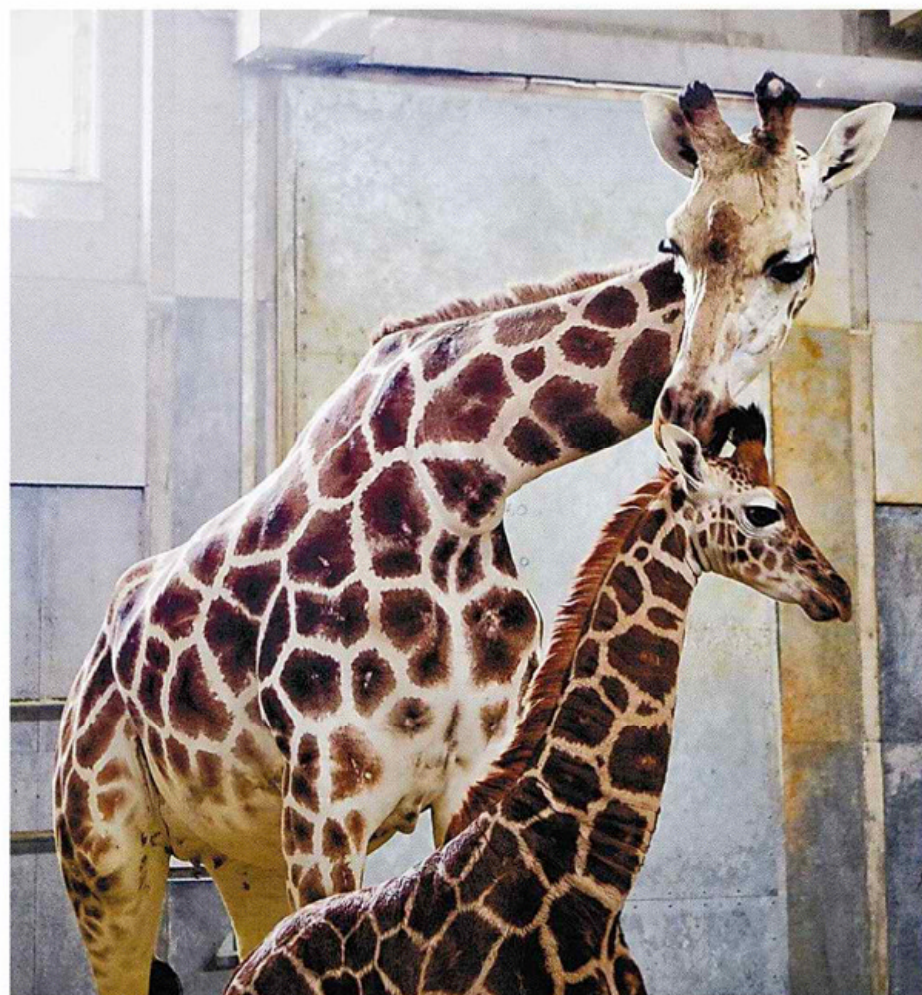
年 組 名前

道新 ワークシート

旭山動物園 わくわく 日記

キリンの出産

1時間で起立 生命力に感動



寄り添い合うキリンの結（奥）と赤ちゃん

キリンの結が昨年12月28日、オスの子を出産しました。旭山動物園にいる動物の中で、妊娠期間が一番長いのがキリンで、平均460日くらい（今回は454日でした）。その次はカバの240日なので、ものすごく長いことが分かります。結とゲンキが交尾したのは2019年10月3日。昨年春ごろまでは結の体に大きな変化は無かったのですが、夏ごろからおなかが大んだん大きくなってきました。9月ごろには胎動とい

って、おなかの中で赤ちゃんがムニムニ動くのが、外からでも分かるようになりました。その後、おなかはどんどん大きくなって、歩く時もゆさゆさ揺らすようになり、後ろ脚がおなかに押され、がに股になっていきました。この頃になると、お客さんからも「おなか大きいね」「妊娠してるの?」と聞かれることが多くなりました。そして11月にはおっぱいが徐々に大きくなり、出産が近いことを実感しました。待ちに待った出産は12月28日の夕方に始まりました。落ち着きなく寢室をウロウロ歩くうち、結のお尻のあたりから、水風船のような袋がプクッと出てきました。羊膜袋です。結が後ろ脚を開き、いきむと、袋が出てきます。そしてバシヤッという音とともに、赤ちゃんが床に落ちました。

赤ちゃんはピクリとも動かないので心配になりましたが、結がペロペロと赤ちゃんの体をなめると、少しずつ動きだしました。そして震える脚で立ち上がり、何度も転びながら歩けるようになりました。出産から立ち上がるまで、たった1時間。赤ちゃんの生きる力と結の母性を目の当たりにし、言葉にはできない感情がこみ上げました。

赤ちゃんは背の高さが175センチもありました。飼育担当より大きな赤ちゃんというのは、キリンならではのです。赤ちゃんは毎日、結のおっぱいを飲み、最近はおとなと同じ乾草や葉も食べ始めています。早く春になり、屋外の広い放飼場で走り回る姿を、たくさんの方にご覧いただきたいと思っています。

（獣医師・キリン担当 佐藤伸高）



年 組 名前

道新ワークシート

①この記事は「旭山（あさひやま）動物園わくわく日記」として、キリンの出産（しゅっさん）について獣医師（じゅういし）さんが書いたものです。この日記を、次の表に、「いつ」「キリンの様子」に分けてまとめてみました。[]の中に当てはまる言葉や数字を書きましょう。

いつ	キリンの様子
2019年 [] 月 [] 日	結とゲンキが交尾（こうび）した
[] 年春ごろまで	大きな変化（へんか）はない
2020年夏ごろから	[]
[] 月ごろ	〈胎動（たいどう）とって〉おなかの中で赤ちゃんがムニムニ動くのが、外からでも分かるようになった
その後	[]
11月	[]
[] 月 [] 日夕方	<p>出産（しゅっさん）が始まった</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 落ち着きなく寝室（しんしつ）をウロウロ歩くうち、（結の）お尻（しり）のあたりから、水風船のような袋（ふくろ）がプクッと出てきた ・ 後ろ脚（あし）を開き、いきむと、袋（ふくろ）が出てきた ・ [] ・ 赤ちゃんはピクリとも動かなかったが、結がペロペロと赤ちゃんの体をなめると、少しずつ [] ・ 震（ふる）える脚（あし）で立ち上がり、何度も転びながら []

②キリンの赤ちゃんが立ったのは、だいたいいつごろだと思われますか。次の中から近いと思うものを選（えら）びましょう。

- (ア) 朝～昼
- (イ) 昼～夕方
- (ウ) 夕方～夜
- (エ) 夜～朝